

I 県立病院事業

県立病院事業は、県民の健康保持のため、その多様な要望に応える医療を提供するとともに、県内の医療水準の向上という目標に向け、県の基幹病院として、また地域の中核病院として期待されている役割を果たすべく鋭意運営に努めています。

今回は、平成28年10月1日から平成29年3月31日までの平成28年度下半期における県立病院事業の概況、予算、経理の状況及び平成29年度の予算の状況などについてお知らせします。

1 事業の概況

今期の県立病院の利用状況は第1表のとおりであり、前年度同期に比較すると入院患者では2,514人の減、外来患者では6,300人の減となっています。

第1表 平成28年度下半期患者利用状況

(単位:人)

区 分	病 院 別				前年度 同 期	差引増減
	中 央 病 院	丸 亀 病 院	白 鳥 病 院	計		
入 院 患 者 数	78,971	20,167	16,554	115,692	118,206	△ 2,514
外 来 患 者 数	126,078	15,105	51,418	192,601	198,901	△ 6,300
計	205,049	35,272	67,972	308,293	317,107	△ 8,814

2 経理の状況

平成28年度における収入及び支出の状況は第2表のとおりです。

第2表 平成28年度病院事業会計経理状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位:千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	執 行 (見 込) 額 B	比 率 B/A
収 入	病 院 事 業 収 益	24,640,465	24,934,764	101.2
	医 業 収 益	19,915,447	20,071,730	100.8
	医 業 外 収 益	4,106,839	4,182,579	101.8
	特 別 利 益	618,179	680,455	110.1
支 出	病 院 事 業 費 用	26,134,731	26,080,371	99.8
	医 業 費 用	24,993,482	24,847,656	99.4
	医 業 外 費 用	789,930	805,390	102.0
	特 別 損 失	351,319	427,325	121.6

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	予 算 額 A	執行（見込）額 B	比率 B/A
収 入	資 本 的 収 入	2,314,186	2,383,722	103.0
	企 業 債	1,081,000	1,081,000	100.0
	出 資 金	238	88	37.0
	他会計からの長期借入金	80,054	79,741	99.6
	固 定 資 産 売 却 代 金	291,017	291,017	100.0
	補 助 金	1,545	61,545	3,983.5
	負 担 金	860,332	870,331	101.2
支 出	資 本 的 支 出	2,881,826	3,158,503	109.6
	建 設 改 良 費	1,380,846	1,657,523	120.0
	企 業 債 償 還 金	1,447,259	1,447,259	100.0
	他会計からの長期借入金返還金	53,637	53,637	100.0
	国 庫 補 助 金 返 還 金	84	84	100.0

3 予算の状況

平成 29 年度当初予算の概要

(1) 患者見込数

年間患者数は、入院 238,418 人、外来 383,080 人、合計 621,498 人（対前年度比 1.3%減）で、1 日平均にすると、入院 653 人、外来 1,570 人、計 2,223 人の見込みです。

(2) 収益的収入及び支出

事業収益の予算は、250 億 2,533 万円（対前年度比 3.4%増）、事業費用の予算は、260 億 6,353 万円（対前年度比 2.3%増）で、本年度における収益的収支は 10 億 3,820 万円の赤字となっています。

(3) 資本的収入及び支出

医療の質や安全性の向上、業務の効率化を図るため、中央病院において全自動尿中有形成分分析装置や免疫・特殊染色装置、X線一般撮影装置等を、丸亀病院においてB棟空調設備改修工事等、白鳥病院においてカテーテル動画システムや電子内視鏡システム等を整備するなど、建設改良費として 6 億 6,052 万円を計上しています。

第3表 平成29年度県立病院事業会計予算

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	平成29年度 当初予算額 A	平成28年度 当初予算額 B	増 減 額 (A - B) C	増 減 率 C / B
収 入	病 院 事 業 収 益	25,025,327	24,206,973	818,354	3.4
	医 業 収 益	20,754,697	19,938,585	816,112	4.1
	医 業 外 収 益	4,270,624	4,096,988	173,636	4.2
	特 別 利 益	6	171,400	△ 171,394	△ 100.0
支 出	病 院 事 業 費 用	26,063,529	25,472,117	591,412	2.3
	医 業 費 用	25,130,984	24,570,892	560,092	2.3
	医 業 外 費 用	768,045	742,371	25,674	3.5
	特 別 損 失	164,500	158,854	5,646	3.6

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円、%)

区分	科 目	平成29年度 当初予算額 A	平成28年度 当初予算額 B	増 減 額 (A - B) C	増 減 率 C / B
収 入	資 本 的 収 入	1,400,514	2,270,684	△ 870,170	△ 38.3
	企 業 債	443,000	872,000	△ 429,000	△ 49.2
	出 資 金	40	300	△ 260	△ 86.7
	他会計からの長期借入金	111,273	78,214	33,059	42.3
	固定資産売却代金	0	228,017	△ 228,017	皆減
	補 助 金	66,424	427	65,997	15,456.0
支 出	負 担 金	779,777	1,091,726	△ 311,949	△ 28.6
	資 本 的 支 出	2,229,287	2,835,464	△ 606,177	△ 21.4
	建 設 改 良 費	660,521	1,337,609	△ 677,088	△ 50.6
	企 業 債 償 還 金	1,514,339	1,447,260	67,079	4.6
	他会計からの長期借入金返還金	54,343	50,283	4,060	8.1
	国庫補助金返還金	84	312	△ 228	△ 73.1

4 経営健全化に向けての取組み

県立病院の経営は、国において検討が進められている医療制度改革の影響や、平成26年3月に新築・移転した中央病院に係る減価償却や企業債償還の影響などにより、今後、厳しい状況が続くことが見込まれる中、常に企業の経済性を発揮するとともに、本来の目的である公共の福祉を増進し、安定した経営の下で良質な医療を継続して提供することが求められています。

そのため、新病院整備後の中央病院の経営状況や、丸亀病院の病棟休止の影響、白鳥病院の医師確保の取組みといった各病院の状況や課題を整理し、現状を分析した上で、平成28年度からの5年を計画期間とする「中期経営目標」を策定し、引き続き、経営改革に取り組んでいます。

平成29年度の主な取組みは、次のとおりです。

(1) 良質な医療サービスの提供

患者の視点に立ち、医療機能の充実・強化を着実に進めるとともに、医療の安全の確保、質の向上を図ります。また、地域の医療機関との適切な役割分担及び連携のもと、地域医療の充実にも取り組みます。

- ・医療の質や安全性の向上を図るため、各病院の機能や特性に応じた医療器械等の整備

(2) 医療人材の確保・育成

勤務条件の改善や研修の充実等により、優秀な医療従事者の確保・育成に努めます。

(3) 災害等への対応力の強化

災害時における継続的な医療提供体制の充実・強化に取り組めます。

(4) 安定的な病院経営の確立

経営力を強化するとともに、収益の確保、費用の適正化に取り組み、資金収支の改善を図ります。

- ・医療や病院の経営、企業会計等に精通した外部専門家で構成された経営評価委員会を開催し、意見・助言を踏まえた病院運営の効率化及び経営基盤の強化
- ・職員の経営への参画意識の醸成や経営改革への積極的な取組みを促進するため、職員提案の促進や病院事業管理者と職員との意見交換を実施